

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成24年7月12日 (2012.7.12)

【公開番号】特開2010-273896(P2010-273896A)
【公開日】平成22年12月9日 (2010.12.9)
【年通号数】公開・登録公報2010-049
【出願番号】特願2009-129986(P2009-129986)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 8 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月28日 (2012.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が飛翔する遊技球飛翔領域を備えた遊技機本体と、
遊技球を前記遊技球飛翔領域に飛翔させるべく操作される操作手段と、
前記操作手段が操作されたことに基づいて遊技球を前記遊技球飛翔領域に向けて発射させる遊技球発射手段と
を備えた遊技機において、
前記操作手段に設けられ、遊技者が接触したことを検知する接触検知手段と、
前記接触検知手段が遊技者の接触を検知した場合、当該検知結果に基づいて遊技者が接触した接触位置を特定する接触位置特定手段と、
前記接触位置特定手段の特定結果に基づいて基準位置を決定する基準位置決定手段と、
前記基準位置と前記接触位置特定手段の特定結果とに基づいて、前記基準位置からの変位を導出する変位導出手段と、
前記変位導出手段の導出結果に基づいて前記遊技球発射手段が遊技球を発射させる際の発射強度を決定する発射強度決定手段と
を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記操作手段は略半球状の操作部を備え、前記接触検知手段を前記操作部の外縁部全周に亘って設けたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記接触位置特定手段は、前記接触検知手段が接触を複数検知した場合、前記複数の検知から 1 の検知と対応する接触位置を特定することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【請求項 4】

前記基準位置決定手段が前記基準位置を決定した後に前記接触検知手段が遊技者の接触を検知しなかったことに基づいて、前記基準位置決定手段の決定結果を無効とする無効化手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかに記載の遊技機。

【請求項 5】

前記発射強度決定手段を、前記変位導出手段の導出結果が前記基準位置から所定の向きに大きくなるほど前記発射強度が強くなるよう前記発射強度を決定する構成とし、前記接

触位置特定手段の特定結果が前記基準位置から前記所定の向きと逆の向きに位置する場合、前記基準位置を前記接触位置特定手段の特定結果と対応する位置に変更する基準位置変更手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の遊技機。